

総合的な学習の時間

「福祉体験 聴覚障がい者の理解と手話体験グループ」



平塚市立中原中学校

単元（題材）目標

- 互いの幸せを考え、互いを尊重する姿勢を身につける。
- 人と共感する力を身につける。
- 社会的有用感、自己肯定感を得ることにより、自尊感情を育てる。

（1）実施時期

令和元年11月6日（水）

（2）対象（学年等・人数）

第1学年18名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：1名

外部講師：聴覚障がいを持つ平塚市社会福祉協議会ボランティア講師1名
手話通訳者1名 手話サークル七夕の会 2名

（4）実施内容

- 事前指導（指導者：1学年職員）
社会福祉協議会より事前に配付された、「耳の聞こえない人たちのことを知ろう（手話テキスト）」を使用し事前学習を行った。
- 社会福祉協議会ボランティアによる授業（指導者：社会福祉協議会ボランティア）
聴覚障がい者の先生を中心に授業が行われた。
 - ・耳の聞こえない人の障がいについて
 - ・耳の聞こえない人の生活について
 - ・耳の聞こえない人とのコミュニケーションについて
 - ・手話で自己紹介
 - ・手話でいろんな言葉表現
 - ・手話でフリートーク
 - ・知りたい手話質問コーナー
 - ・手話以外の質問コーナー



（5）成果〈子どもの学び〉

- 聴覚障がいを持つ兄弟や友人がいる生徒がいたため、実際の生活場面や一緒に遊んだときの様子を先生と一緒に話し合うなど、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。また、自分が使ってみたい手話を先生から教えていただき、簡単な手話を使って楽しく会話することができるようになった。

（6）その他

- 中原中学校では、1年生は総合的な学習の時間に福祉体験を行っている。生徒は、福祉新聞を作成しそれぞれの体験をまとめる。